

Profile of Exosomal and Intracellular microRNA in Gamma-Herpesvirus-Infected Lymphoma Cell Lines

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-07-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 保科, しほ メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032253

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2935 号	氏 名	保科 しほ
審 査 委 員 会	主 査 教 授	田中 淳司	
論文審査の要旨 (400 字以内) 保科しほ氏は KSHV 感染リンパ腫細胞株、EBV 感染リンパ腫細胞株、非感染リンパ腫細胞を用いて、超遠心法プロトコールと ExoQuick-Tc (SBI 社)によってエクソソームを分離し、抽出した miRNA から RNA ライブラリーを作成し、次世代シーケンサー (MiSeq, Illumina 社)にて解読を行い、CLC genome workbench (Qiagen 社)で解析を行った。その結果、KSHV 感染細胞ではウイルス由来の miRNA がエクソソーム中の全 miRNA の 48%を占め、細胞内では 43-44%であった。EBV 感染細胞では EBV 由来の miRNA はエクソソーム中の全 miRNA の 7%、細胞では 15.7%であった。配列中に CCCT と CCCG モチーフを持つ miRNA が KSHV 感染細胞のエクソソームに有意に多く局在していた。 このようにウイルス感染リンパ腫細胞株のエクソソームと細胞の miRNA の詳細なプロファイルを報告し、ウイルス感染細胞の miRNA が特定のモチーフによりエクソソームに誘導されている可能性が示唆された。 またこの研究に関して直接質疑を行ったところ氏は適切に説明解説を行う事ができた。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			